

東京教区時報

第1140号
2009年10月25日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

おそらく教会が始まって以来、今日に至るまで教会の中に分裂がなかったことも、涙がなかったこともないでしょう。初代教会時代の確執、中世の戦争や裁判などの血なまぐさい対立、約5百年前の宗教改革の時代にも、破門や処刑を含む苦しみが、教会を引き裂いていました。時代を越えて、迫害を受ける教会では、内部での対立も激しかったでしょう。

今、世界の聖公会でも、北米地域と英国の教会と、主としてアフリカ・南米地域の教会との間に対立があり、和解に至る道には大きな困難があるようです。わたしたちの身近なところにも、大小の対立が横たわり、空気が通りにくい現実があります。信仰に関わる対立が起こると、人と人との間、グループ間で

《み手のなかで》

「涙に代えて 歌をたまわん」

(聖歌集391番3節より)

子 繁 野 山 祭 司

の衝突となります。一方が自己を「正しい」と主張し、他者をないがしろにして相手に大きな痛みを与える場合、教会であること自体の前提と根拠が崩れ去ってしまいます。

世にある教会としての緊張と対立を避けることはできないとしても、それを、キリスト者として生き抜く前向きな力、創造的な動きにどうやって転化していくことができるか、幻と知恵を求める成熟したあり方が求められていると思います。日本聖公会が151年目に向かって、沖へ漕ぎ出す決意を新たにしたい今、わたしたちが神への信頼を深め、それぞれがイエスの尊厳し、共に讚美の歌を歌う共同体として強められるように祈りたいと思います。

(東京諸聖徒教会牧師)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

- ◇10月の代禱・信施奉献先
- ▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(10月第3主日10・18)▽社会事業の日(特定25)(10・25)
- ◇堅信受領
 - 10月4日 聖ヨゼフ老人ホーム
 - ▽山本千美(清瀬)
 - 10月18日 聖ルカ礼拝堂
 - ▽山村尚美(聖ルカ)
 - ◆とこしえの平安
 - 9月29日 近藤 隆治(85) 全生園
 - 10月4日 加藤 隆弘(73) 聖ガブリエル
 - 10月4日 高谷 愛子(82) 聖アンデレ

今週・来週の予定 10月25日~11月7日

- 25(日) 聖霊降臨後第21主日 主教巡回 聖ガブリエル教会
- 26(月) 財政委員会
- 27(火) 銀座朝拝会 ハラスメント防止委員会 教会企画室 常置委員会 教役者会 聖餐式
- 28(水) 主教座聖堂活動委員会
- 29(木) IT特別委員会
- 30(金) 城南Gセミナー
- 31(土) 11月
- 1(日) 聖霊降臨後第22主日 主教巡回 東京諸聖徒教会 教会墓地礼拝 教区墓地礼拝
- 2(月) 月島準備室
- 3(火) 竹内司祭信徒講座
- 5(木) エルサレム教区協働委員会
- 6(金) 第2回将来計画担当者意見交換会(アンデレホール)
- 7(土)

- ▽五本木九条の会《憲法を学ぶ講演会》 10月28日(水) 18時半、聖パウロ教会。「大韓聖公会と社会宣教」講師・金大原司祭(大韓聖公会ソウル教区・社会宣教師) 今年9月から在日)。照会☎090(8044)8524・事務局。
- ▽台東九条の会・南部地区の集 DVDによる歴史を刻む日
- 本國憲法」、10月29日(木) 19時半、浅草聖ヨハネ教会。会場☎03(3851)9521。
- ◇秋のバザー(5)
- ▽10月29日 聖マリア(10時半~16時・ガレージセル)▽11月1日 聖救主(10時~15時)・聖ガブリエル(12時~15時)▽11月8日 聖愛(12時半~15時)・清瀬聖母(11時半~14時)

◇人事

聖職候補生 塚田重太郎

聖アンデレ教会勤務解任

(9月30日付)

聖パウロ教会勤務命令

(10月1日付)

◇教区墓地礼拝(11月・括弧内司祭名は礼拝主任者) *2日

(月) 〓八柱霊園10時(神崎雄二) / 染井霊園11時(下条裕章)

／雑司ヶ谷霊園11時(河野裕道) / 上川霊園11時(前田良彦)

／谷中霊園14時(笹森田鶴) / 青山霊園14時(大畑喜道) / 八王子・東京・南多摩霊園14時(加藤俊彦) *3日(火・休) 〓

小平霊園10時半※(井口諭) / 春秋苑10時半(神崎和子) / 多磨霊園14時(吉野秀幸) ※ 〓

最寄駅西武線小平駅前く教区墓

地間に無料送迎車運行(2台・往路復路とも各3便)

▽第2回将来計画担当者意見

交換会 教区企画室の主催で今年1月につづく2回目。11月7日(土)14時〜16時半、聖アンデレホールその他。すでに各教会から1、2名の参加申し込みが届いている。照会などは教区教務主事宛に。

▽「三光教会」感謝の集い」礼拝堂改築をひかえた11月8日(日・同教会創立記念日)、聖堂および会館で。16時の晩祷(唱詠)では40年、50年と続いた祈りの場の聖別解除の祈り(教区主教)を、引き続き17時より感謝の集いを。照会Tel03(3781)2554。

《今、この教会では…》

聖路加国際病院聖ルカ礼拝堂

毎主日、百名を超える人が礼拝に出席します。かつて信者は病院の医師、看護師、職員、看護大学生がほとんどであったのに、現在では病院関係者以外の人々が6割くらいになるでしょうか。一方で、2人のチャプレンは、入院中の患者さんやそのご家族のこと、看護大での授業、様々な病院との折衝でいつも大忙しです。私たち信者も、当礼拝堂の持つ使命を考え、病院とのいい関係を保ちたいと願っています。またここが、地域の方達や病院にいられた方の癒しの場になれば幸いですし、病院関係の信者が増えれば、もっとうれしいです。(穂積久美子)

【クローズアップ】28

下町G研修会く日曜給食

活動の現状に聞く

下町教会グループ協議会では9月例会を標記テーマの研修会とし、浅草聖ヨハネ教会で下条裕章司祭から活動風景のスライドと共にお話を伺いました。

同教会の給食活動は、10数年前、食事を求めて来た方と礼拝後の食事を共にしたことが始まりで、その後、来られる方の数が増えたためお弁当を日曜に配布する現在の形となりました。

給食活動は、お弁当作りと外部の見回りから成ります。お弁当作りのメンバーは朝7時頃より炊込みご飯を炊出し、途中で聖アンデレ教会から届けられる

約200食分と共に次々とバック・袋詰めして準備します。

同時に、教会の外では外回りのメンバーが案内の看板やポスターを設置したり、早く来られた方に教会の中庭に入って待つようお願いしながらパトロールします。

礼拝後、正午から配食。当日は過去最多の576食ながら30分程で渡し終えました。

活動自体は分担係が行き届き、来られる方々も整然と協力的です。しかし人数の増加から、他所での給食活動を望む付近の住民の方と教会との間で昨年来、緊張関係が生じており、話し合いが模索されています。

同師からのお話の後三つのグループに分かれ、実際に活動に携っている方々から直接に様子

を伺いながら、話し合いが行われました。その中では、食事を求めて来られる方がある限り大変でもやめられない、しかし近隣の方との対立の板挟みが苦しいなどの声が心に残りました。

グループ・デイスカッション後の報告では、都内・近隣の複数の場所と同時に給食活動を展開できれば、浅草への集中と負荷を防げるのではないかとの意見や、対応に消極的な行政に対する働きかけへの連動の意見が出され、最後に同教会の現在の活動と苦悩を、各教会も自分たちに問われた問題として共有して締めくくられました。

幹事教会・聖ルカ礼拝堂
阿部 裕